職場環境等の評価方法

- ストレスの原因となる職場環境
  - ストレス増加の背景
    - ①外部環境の変化
      - 経済発展
      - 規制緩和
      - 技術革新
    - ②組織の変化
      - 事業の再構築
      - 製造と業務の効率化
      - 雇用調整
    - ③仕事の変化
      - 複雑化
      - 高度化
    - 心身への負担増加
  - 職業性ストレスの原因となる項目
    - 作業内容及び方法
      - ①仕事の負荷が過大・過少
      - ②長時間労働・休憩がとりづらい
      - ③仕事の役割・責任が不明確
      - ④従業員のスキルが活かされない
      - ⑤繰り返しの多い単純作業ばかり
      - ⑥従業員が不自由・裁量権少ない
    - 職場組織
      - ①管理者・同僚からの支援・交流なし
      - ②職場の意思決定に関れない
      - ③昇進・スキル向上の情報がない
    - 職場の物理化学的環境
      - ①貴金属や有機溶剤などへの暴露
      - ②好ましくない換気・照明・騒音・温熱
      - ③好ましくない作業レイアウト・人間工学的環境
  - 特に健康への影響が高い原因
    - 仕事の要求度が高い
      - 負荷
      - 責任
    - 仕事のコントロール度が低い
      - 裁量権
      - 自由権
    - 上司や同僚の支援なし
      - 職場の人間関係
- 職場環境のチェックポイント
  - 問題把握
    - 日常の職場管理
    - 従業員の観察
    - 部下からのインタビュー
    - メンタルヘルスアクションチェックリストの活用
      - 既存の資源活用
      - 低コスト
      - 優先対策チェック
      - 一般的なチェックリストとは違う
    - 事業場内産業保健スタッフ
      - ストレスに関する調査
  - 広義の職場の環境改善
    - 新指針
      - 環境と個人の両側面の対応
    - 旧指針
      - 個人向けの対応
    - 労働者の心の健康の保持増進の指針
- ストレスの評価方法
  - 質問紙調査
    - 信頼性の高さ
    - 調査の容易さ
    - 個人レベルでのストレス要因評価可能
    - 職業性ストレス簡易調査票
      - 厚生労働省
      - 職場のストレス要因評価可能
      - ストレス反応評価
      - あらゆる業種で使える
      - 従業員への負担少ない
      - フィードバックプログラム
      - 全国平均比較可
        - 仕事のストレス判定図
  - 他の職場環境等のストレス要因把握方法
    - 管理監督者
      - 日常業務
        - ストレスの原因
        - 従業員のストレスサイン
    - 意見取り上げ
      - 小グループ活動
      - 職場安全衛生委員会
- 職場環境等の評価・改善
  - 定期的に行う
    - 独自のチェックリスト
    - 有効
  - ILO
    - 職場ストレス対策の報告
      - 個人向けアプローチ
        - 一時的
        - 限定的
      - 職場環境等の改善を通じた対策
        - より効果的
    - 国際労働機関
    - 自主的に取り組むシステム
      - 管理監督者
      - 従業員
      - 専門家からの支援
        - 産業保健スタッフ
    - 健康職場モデル
      - 相互作用
        - 従業員の健康
        - 企業の生産性